

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 山梨県北杜市

自治体名： 山梨県北杜市  
担当課名： 教育委員会 生涯学習課  
電話番号： 0551-42-1373

本報告書は、スポーツ庁の「令和7年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業）」の一環として、山梨県が実施した「令和7年度地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 1.自治体の基本情報

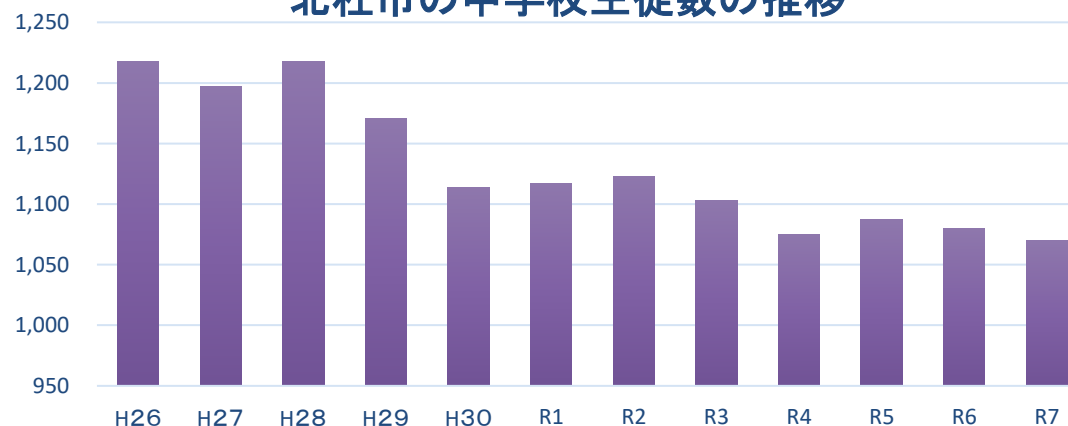
## 基本情報

面積	602.48 km <sup>2</sup>
人口	45,015 人
公立中学校数	9 校
公立中学校生徒数	1,071 人
部活動数 (運動部活動のみ)	52 部活
地域クラブ活動数	1 クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	R7に北杜市中学校部活動地域移行協議会を設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定中

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

- 北杜市は、平成16年度に、明野町、須玉町、高根町、長坂町、大泉町、白州町、武川町が合併し、翌17年度に小淵沢町が加わり、山梨県でもっとも面積の大きな市となった。北杜市には、9校の公立中学校があり、1,071人の生徒が在籍している。本市の中学校の生徒数の推移を見ると、平成15年度の約1,500人が、平成26年度に約1,200人、令和4年度以降は1,100人を下回っている。今後、生徒数は、令和10年度に約900人、令和16年度には約650人であることが現時点で推定される人数となっている。
- 現在、市内公立中学校では、季節部を含めて52の運動部活動があるが、学校ごとに単独で活動できる部は、生徒数の減少に伴って、年々減少してきている。単独チームを構成できない場合は、複数校で合同チームを組んで大会に参加している。
- 令和7年度は、地域展開に向けての取組を進めるために、協議会を立ち上げ、市としての方針・ガイドラインの作成に向けて検討を重ねた。
- 市の面積が広大であり、生徒の移動手段や移動時間に課題があるとともに、現在、甲陵中学校を除く8つの中学校を2校にする中学校再編整備計画が進行中であることから、部活動地域展開も先が見通せない状況である。

### 北杜市の中学校生徒数の推移

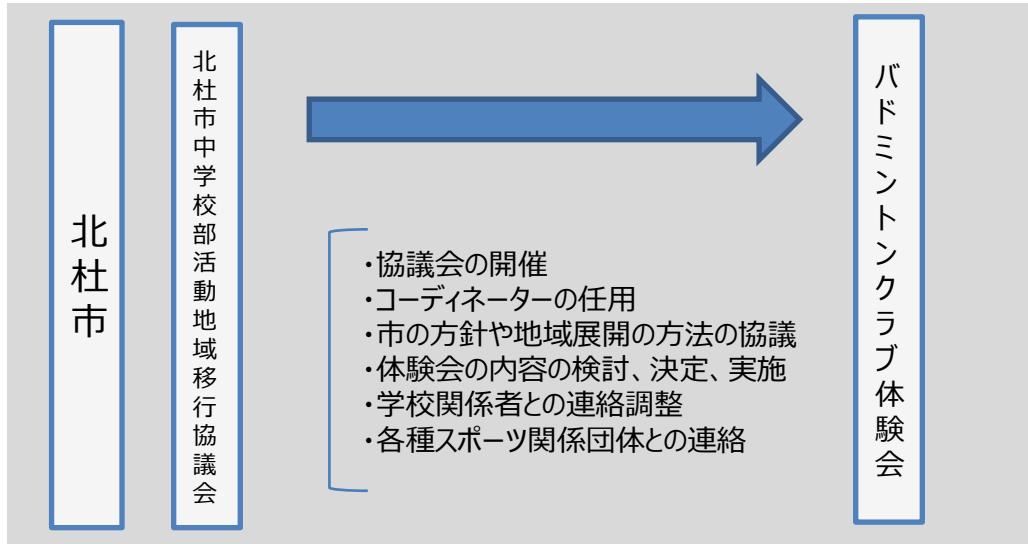


文部科学省 学校基本調査より

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●市区町村における推進体制図



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会（生涯学習課）

- ・北杜市中学校部活動地域移行協議会の開催、北杜市中学校部活動地域移行協議会委員の選定・任命、その他事務作業全般
- ・コーディネーターの任用、スポーツ専門部会・文化芸術専門部会の開催、スポーツ専門部会・文化芸術専門部会委員の選定
- ・地域スポーツクラブ体験会の計画、実施、課題の分析、検証

##### ◎首長部局

- ・首長部局が担当する役割はない。全て教育委員会内で対応している。

### 年間の事業スケジュール

令和7年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター任用</li> <li>・全中学校校長との情報交換</li> </ul>
令和7年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察</li> <li>・各種スポーツ団体への説明</li> </ul>
令和7年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回中学校部活動地域移行協議会開催</li> <li>・先進地視察</li> </ul>
令和7年8月～10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ専門部会 開催</li> </ul>
令和7年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回中学校部活動地域移行協議会開催</li> <li>・スポーツ専門部会 開催</li> </ul>
令和8年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業地域クラブ体験会、アンケート調査 実施</li> </ul>
令和8年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル事業地域クラブ体験会、アンケート調査 実施</li> <li>・実証事業での課題、アンケート結果の分析</li> <li>・スポーツ専門部会 開催</li> </ul>
令和8年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回中学校部活動地域移行協議会開催</li> </ul>

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		1 クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		1 クラブ
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数		
全体の指導者数	10人	全体の運営スタッフ数	5人

#### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
バドミントンクラブ	北杜市	バドミントン	・休日 月1回	休日 午前または午後	小学生 中学1年 中学2年	1月～2月	10人	5人	200円/月	参加未定 (部活動にない種目のため)

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

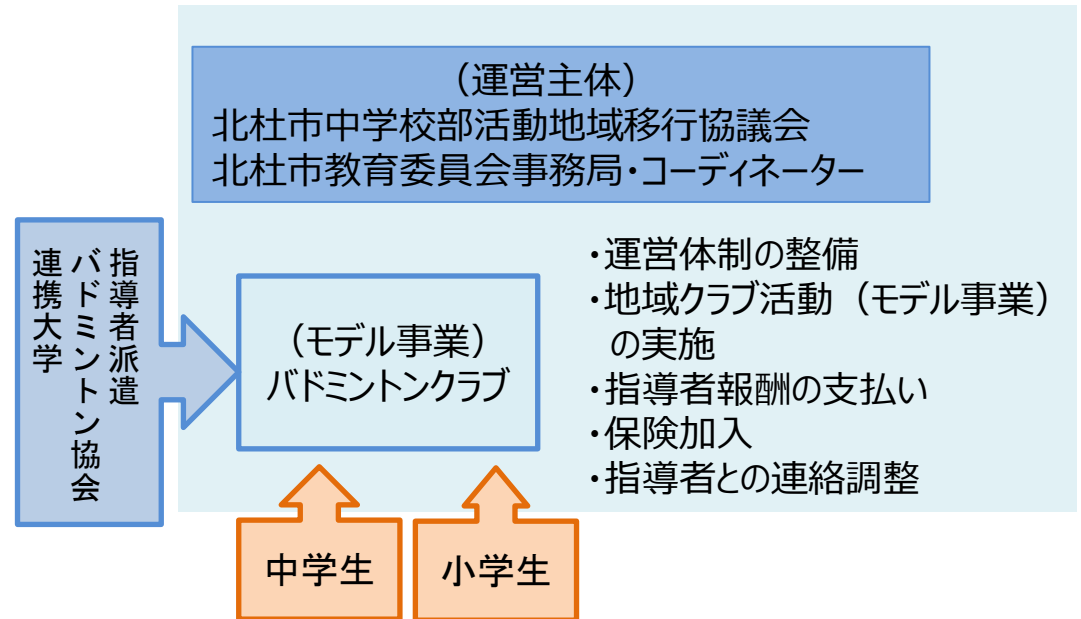
- イベント等の開催は、なし。

## 主な取組例

### ●北杜市地域クラブ活動モデル事業 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バドミントン
運営団体名	北杜市教育委員会
期間と日数	バドミントン 月1回
指導者の主な属性	バドミントン協会 大学生
活動場所	北杜市内体育館
主な移動手段	保護者の送迎
1人あたりの参加会費等(年額)	バドミントン：200円
1人あたりの保険料	傷害保険 1人あたり：200円/年

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 指導者：10名  
役割：生徒への指導
- 運営スタッフ：5名  
役割：運営体制の整備、地域クラブ活動(モデル事業)の実施、指導者報酬の支払い、保険加入の手続き、指導者との連絡調整

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

○学校と行政、運営団体、地域スポーツ指導者等との連絡調整を担う

コーディネーターを1名配置

○北杜市中学校部活動地域移行協議会を3回開催

○スポーツ専門部会を4回開催

○先進地視察及び各種会議への参加

○モデル事業の実施

○アンケート調査による問題点、課題の分析

##### 今後の取組における課題

○持続可能な運営ができる組織体制の整備について、さらなる協議を進めること。

○休日の部活動を地域クラブに展開するには、「交通手段」「財源の確保」等が

課題となることがアンケート調査の結果からも、明らかになった。

##### 取組の成果

○コーディネーターを配置したことにより、学校との連絡、情報交換等がスムーズに行うことができた。

○学校長と情報交換を行うことにより、中学校の実情を把握し、運営主体である市と学校間の連絡調整を行うことができた。

○先進地を視察し、収集した事例を本市の検討に生かすことができた。

○地域クラブ活動の在り方や指針方向性について、協議会、スポーツ専門部会で検討し、モデル事業につなげることができた。

○アンケート調査により、課題の集積、分析を行うことができた。

##### 課題への対応方針

○認定制度の制定に向け、北杜市中学校部活動地域移行協議会を開催し、持続可能な運営ができる組織体制の可能性を探る。

○関係者への周知と協力体制を構築する。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

- ・ 学校長との情報交換
- ・ 各種スポーツ関係団体との連絡
- ・ 指導者との連絡調整
- ・ 協議会、部会等の資料の作成

##### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・ 「部活動アプリ・クラブマネージャー」の利用等について、株式会社アスフィールより説明を受け、導入に向けた検討を行った。
- ・ 体験会の参加者への連絡手段として、やまなしくらしネットを試行的に利用した。

##### 運営団体・実施主体の体制整備に向けた取組

- ・ スポーツ専門部会の構成メンバーに、市スポーツ協会役員、スポーツ推進委員、スポーツ少年団指導者及び保護者代表、中学校教諭（体育主任）、青少年育成コーディネーター、指導者協議会役員を入れた。地域クラブ活動の在り方や方針について、様々な立場からの意見をいただき、検討した。
- ・ スポーツ協会、スポーツ少年団指導者会議などで、地域クラブについての国や県の進捗状況について伝えた。
- ・ 先進地の様々な運営体制を視察し、本市の状況にふさわしい運営体制の構築に向けて、専門部会・協議会で話し合った。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 市スポーツ協会、スポーツ少年団指導者等への相談、連携
- 市と連携協定がある大学に指導者の派遣を依頼
- スポカルやまなしを活用しての指導者確保（マッチングなし）

##### 取組の成果

- 各種スポーツ団体や大学と連携したことで、指導者を確保することができた。
- 実証事業を行ったことで課題の洗い出しができた。

##### 今後の取組における課題

- 体験会に協力していた指導者について、継続的な指導をお願いできるようなシステムを構築することが必要。
- 市内中学校を2校に統合する計画が進行中であり、統合後の地域クラブ活動の運営等を想定する必要があるため、教職員の兼職兼業についての検討を進めることが難しかった。

##### 課題への対応方針

- 安定的に指導者を確保できるよう、様々な団体との連携を進める。
- 兼職兼業についての協議を進める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- ・ 大学生の活用促進のための地方公共団体と大学との組織的な連携  
(日本体育大学、山梨学院大学他)
- ・ 市スポーツ協会バドミントン専門部への相談
- ・ 県バドミントン協会への相談
- ・ スポカルやまなしに登録し、指導者募集

##### 指導者研修について

- ・ 国、県の動向を鑑み、事故や暴力・暴言・ハラスメント・いじめ等の不適切行為の防止への対応につて、模索中である。

##### 指導者の声

- ・ 地域移行の取組は、指導者が先生ではないので、子どもたちがうまくなるのかが心配されるが、今回の取組を通して、指導手順、内容、プログラムがしっかりなされていれば、子どもたちも楽しめるのではないかと感じた。
- ・ 指導する側においてもたくさん学びがありました。
- ・ 今回のような初心者ならば、一緒に楽しめるが、上手な子供を指導するとなると、自分の技術では気が引ける。
- ・ バドミントン技術は年々向上しているので、新しい知識をもった経験者が欲しいです。
- ・ 地域の小中学生と関わる機会をいただけてよい経験になった。
- ・ 子どもたちが成長する姿を見て、今後少しでもその子の道がひらけるなら、指導したいと思いました。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

○現在、市内中学校に部活動として開設されていない競技種目であり、体験しやすく、児童生徒の希望が多い、バドミントンをモデル事業として設定し、実証を行った。よりよい活動に向け、児童生徒、保護者、指導者にアンケート調査を行った。

##### 取組の成果

○参加した児童・生徒の満足度は、9割以上であった。  
○アンケート調査の結果をスポーツ専門部会、協議会で検討し、来年度の取組につなげる。

##### 今後の取組における課題

○地域特性をふまえた認定制度の早期確立  
○指導者の確保と質の向上

##### 課題への対応方針

○関係部局と連携を図り、地域連携を含めた地域展開等を推進し続ける。  
○先進事例を参考に、指導者の確保に努める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### アンケート調査の実施

- モデル事業のバドミントンクラブ体験会に参加した、児童生徒、保護者、指導者にアンケート調査
- アンケート内容を事前にスポーツ専門部会で検討
- アンケート結果をスポーツ専門部会、協議会で検証

##### アンケート結果から（保護者コメント）

- 北杜市にはバドミントン部が中学校にはないので、子どもは以前から部活動でやってみたかったのもあって参加しました。学校での部活動にも指導面など様々な限界が出てきている中、地域クラブ活動という形で行っていくことはよいと思います。いろいろな世代の方に教えていただき、交流もできて豊かな関係も築けて子どもにとっても素晴らしい経験になると思います。半面、学校の部活動扱いにならない場合、進学の評定にどのように影響を及ぼすか、悩ましい部分もあります。
- 地域クラブだと保護者の送迎が必要になってしまうので送迎バスなどがあると助かります。

#### バドミントンクラブ体験会の実施

部活動地域展開モデル事業

### バドミントンクラブ体験会

少子化による中学校部活動の諸課題の解決や子どもたちが生涯にわたってスポーツ・文化芸術に親しむ機会の創出を目的とした地域クラブ活動を推進するための実証事業「バドミントンクラブ体験会」を開催します。初心者のためのルール説明とゲームを体験していただきます。ふるってご参加ください。

① 日時：2026. 1. 25 (日) 9:00~12:00  
会場：高根体育館

② 日時：2026. 1. 25 (日) 13:00~16:00  
会場：高根体育館

③ 日時：2026. 2. 1 (日) 9:00~12:00  
会場：白州体育館

④ 日時：2026. 2. 1 (日) 13:00~16:00  
会場：白州体育館

対象：市内の小学5年生、6年生、中学生  
大人の見学も可能

定員：各回 24名

講師：山梨県バドミントン協会

内容：バドミントンのルールの説明、打ち方、参加者同士のゲーム

参加料：1人あたり1回 200円

持ち物：体育館シューズ、タオル、水筒、運動しやすい服装

☆ 申し込み ☆  
QRコードを読み取り、やまなしくらしねっとから。  
生涯学習課への電話・FAXでも受けつけます。  
各回、3日前までにお申し込みください。



主催 北杜市教育委員会生涯学習課 TEL：0551-42-1373  
北杜市中学校部活動地域移行 HP: <https://www.city.hokuto.yamanashi.jp>

北杜市内の中学生と小学校5年生、6年生を対象にバドミントンクラブ体験会への参加募集チラシ

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

- ・今年度は、実証事業の実施初年度として、協議会を立ち上げ、地域クラブ活動方針、及び運営体制について検討することができた。また、スポーツ専門部会を開催し、各種関係団体の状況の把握と、地域クラブへの協力の可能性を探ることができた。今後、国の動向を確認しながら、令和8年度には、最低一つ以上の地域クラブ活動を開始できるよう、取り組んでいく。
- ・モデル事業として、バドミントンクラブ体験会を開催し、アンケート結果をもとに、課題の集積、分析を行うことができた。

#### ●成果の評価

- ・北杜市の広域性に対する生徒の送迎問題や指導者不足が懸念される。
- ・バドミントンクラブ体験会は、事務局含め、児童生徒・保護者が地域クラブ活動をイメージしやすい事業として、成果があった。
- ・教職員の兼職兼業に対する考え方を早期に検討する必要がある。

---

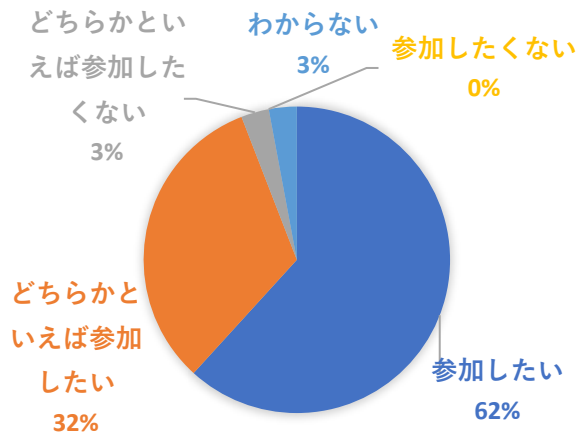
#### ●今後に向けて

- ・バドミントンクラブ体験会を通じて得たデータや意見を参考とし、北杜市モデルを構築する。

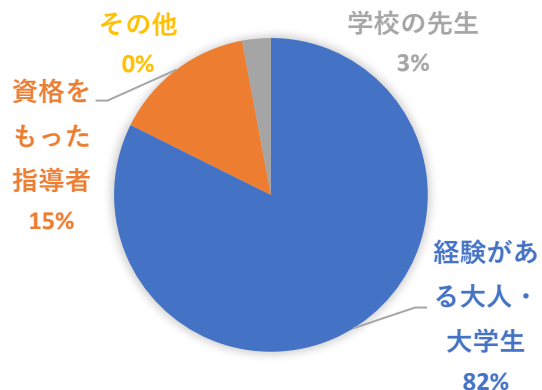
## アンケート結果・参加者/関係者の声

### ●アンケート結果

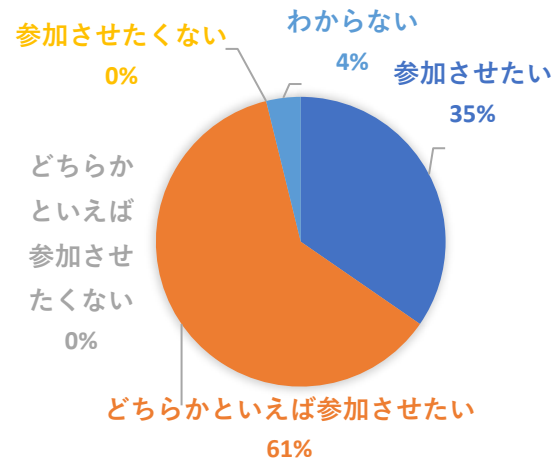
Q.休日の地域クラブ活動に参加したいか？  
(児童生徒)



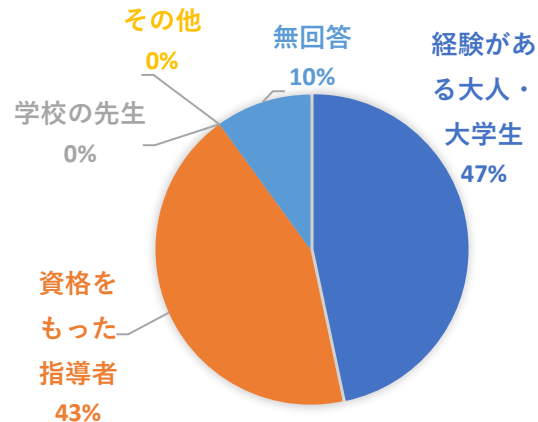
Q.どのような指導者がいいか？ (児童生徒)



Q.休日の地域クラブ活動に参加させたいか？  
(保護者)



Q.どのような指導者がいいか？ (保護者)



### ●参加者の声

#### 中学生

モデル事業については、参加してよかったという意見が大半であった。主な理由は、興味のある競技だったから、他校の友達と交流できたから、練習内容がよかったからであり、普段関われない他校の友達との交流や小規模校のため部活動としてできない種目に取り組めたこと等を評価していることがわかった。反面、参加を強制されることに不安を感じる生徒もいる。

#### 保護者

モデル事業については、参加させてよかったという意見が大半であった。主な理由は、子どもの希望を大切にしたいから、市内の生徒との交流ができるから、といった意見があった。地域が広いため、移動手段に不安を感じる保護者が多く、経済的な負担を心配する意見もあった。今後、検討していく必要がある。

#### 指導者

指導により、上達する姿にやりがいを感じるといった意見が多数あった。技術面で、指導の難しさを感じる意見もあった。また、保護者と同様に、移動の交通手段に不安を感じる指導者もいた。今後検討していく必要がある。

## 2.実証内容と成果④



【北杜市中学校部活動地域移行協議会】



【北杜市中学校部活動地域移行協議会】



【スポーツ専門部会】



【バドミントンクラブ体験会】

## 2.実証内容と成果

### 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

市教育委員会、市中学校部活動地域移行協議会、コーディネーター

#### ●経過

○令和5年度に検討委員会を2回開催し、検討を開始した。令和6年度には、協議会設置要綱を制定した。

○令和7年度にコーディネーターを任用し、学校長との情報交換を行った。また、協議会を3回（7月、11月、3月）、スポーツ専門部会を4回（8月、10月、11月、2月）開催し、様々な意見を集約して、市の方向性・方針の決定に向けて準備中。年度後半には、モデル事業を実施。課題点の分析を行った。

#### ●実施内容

○国の定める要件や学校部活動の方針に沿った形でのモデル事業実施を検討し、問題点や課題の集積をするため、現在市内の中学校に設置されていない競技であり、指導者を派遣可能であるバドミントンでモデル事業を行った。市の面積が広大であることから、会場を2か所設定した。

#### ●実施にあたって生じた課題

○地域クラブ活動を実施する際の指導者の確保や交通手段、財源の確保  
指導力のある人材を地域でどのくらい確保できるのか、活動場所への交通手段、地域クラブの運営費用をどのように確保するのかが課題となった。

